

こうとう民報

2016年5月号 138

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行
こうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

戦争法廃止、立憲主義を取り戻せ。 STOP! 安倍暴走政治



第87回中央メーデー

5月1日、3万人以上が参加した代々木公園で開かれたメーデー中央集会。写真は、江東区参加のみなさん。

臨海都民連が学習会

「臨海部と周辺地域の大規模開発を考える」

埼玉大名誉教授が「市街地再開発の真実」を告発

「臨海部開発問題を考える都民連絡会」は4月27日、豊洲文化センターで学習会を開催し、講師の岩見良太郎・埼玉大学名誉教授（都市計画研究）が大都市改造の狙いと戦略、問題点を明らかにしました。参加者は再開発の高層ビル計画が進む江東区内や中央区から33人。

岩見氏は、オリンピックを



講演する岩見良太郎名誉教授

口実に進められている東京大改造は人口減・高齢化でヒトモノ、カネは乏しくなるといふ制約条件の下で、国民が生活しやすい都市ではなく、「企業にとって世界一魅力的な都市づくり」を目的にしているとの分析。

そのために既存の都市計画が白紙化され、特定街区、高度利用地区、再開発等促進区など様々な規制緩和手法が展開されており、同時に「企業参加の強化と住民参加の弱体化」が進行していることも特

徴と指摘しました。

江東区でも豊洲などの臨海部に加えて、都営地下鉄・西大島駅北側に50階建て、亀戸のサンストリート跡地に60階建ての超高層化計画が進んでおり、岩見氏は、高度利用による容積率プラスで誕生する増床部分は「企業利益の打ち出しの小槌」と表現しました。

さらに岩見氏は、「市街地再開発の真実」として、住民が追い出され、公的助成金が開発利益のために出ていくことにも警鐘を鳴らしました。

係者は入れない状況下で「米軍に引かれた少女」の写真を撮影、本土に伝え、占領下の沖繩の実態を告発しました。

そして戦争法で日本全体が沖繩化される。安倍首相を追い込もう呼びかけました。

元山氏は、3・11を契機に、原発問題も沖繩基地問題も根は同じだと考えるようになった。特に秘密保護法の学習会や国会前行動で、奥田氏たちと一緒にシールズを立ち上げた経過を紹介。

参院選に向けシールズは、野党の統一候補の勝利へ活動を始めると決意を報告。

「明日を決めるのは私たち」のスローガンの下、5月3日の有明防災公園は5万人の人流で埋まりました。

戦争法廃止を求める「200万人署名」が1200万人を突破し、6月いっぱい署名を続けること、6月5日に「政治をかえる大行動」を行うことが提起されました。

安倍改憲を許さない運動を進める多彩な市民団体などに加え、野党4党党首も揃って登壇してアピール。日本共産党の志位和夫委員長は「変えるべきは憲法ではなく、憲法をないがしろにする政治」と強調し、民進党の岡田克也代表、社民党の吉田忠智党首、生活の党の小沢一郎代表も



5月8日、南砂区民館で「砂町の会」が第2期の憲法学習のつどいを開催。嬉野京子さん（報道写真家）が「戦場の島・沖繩が問いかける憲法と戦争法」をテーマに講演。ゲストにシールズ琉球の元山仁士郎さんのスピーチ、参加者は、90名を超えました。

嬉野京子さんは、返還前の沖繩には宗教、教育、報道関係と指摘しました。

「核兵器なくそう」「憲法いかにそう」「命がだいじ」「9条まもろう」など、単語を区切ったピースコールと、先頭のラップ調の音楽を流す車を先頭に、今年も被爆地・広島めざし平和行進が出発しました。

5月6日、夢の島の第五福竜丸展示館前には色とりどりの横断幕やのぼり旗と700人の参加者は、東京や宮崎、沖繩、長崎から広島をめざす通し行進者6人の決意に拍手を送り、元氣よく行進をスタートしました。

5月6日
核兵器のない世界めざし広島へ
第五福竜丸前で平和行進出発式



潮騒

熊本地震から1カ月余。未だに続いている余震は1500回に迫る未曾有の震災です。地滑りや寸断された道路、崩落した家屋。そこで生きた心地もなく過ごしている被災者の国を挙げた救援が急がれています。この大変な時に、国民の税金を食い荒らす疑惑が噴出してきています。舛添都知事はかつて安倍政権の厚労相としても「政治とカネ」追及で知られていたが、豪華海外出張や公用車での別荘通いに続く今回の政治資金の私的流用疑惑は、新党改革代表として2年間で2億4500万円を受給していた時のことです。家族との旅行や食事まで「政治活動」、書籍や美術品購入は「資料」と強弁して公金にタカるさもしい意図は、説明されたほとんどの人からダメ押しされました。ちなみに、国際政治学者を誇示する氏は、憲法9条2項に自衛軍保持を入れた「05年自民党新憲法草案」の執筆者です。国の税収では、ついに消費税が所得税や法人税をこえてトップになりました。パナマ文書によれば、400件以上の日本の企業・個人がタックスヘイブン（租税回避地）で税逃れ。このような不正の根源、国民に窮乏を強いて米

国に奉仕する戦争法の具体化を進める亡国の政治に終止符を打つ、野党共闘と市民連合の前途に希望を託しましょう。

米よこせ運動と反戦デモ

概説 江東の歴史 (56)



米よこせ母子像

1931(昭和6)年9月18日、中国東北部(満州)で日本軍部により15年戦争が開始されます。国内は軍需景気にわく一方で、東北の冷害による大凶作にみまわれ、国民は米価の暴騰に苦しめられました。

1932年6月、三河島で400人の民衆が「米よこせ」とたちあがった運動は、各地に広がりしました。この運動の中心には、純労働者組合の戸沢仁三郎がいました。彼は共働社を関東消費組合連盟(関消連)から日本無産者消費組合連盟(日消連)に発展させ、本部を大島町2-31におきました。

7月2日の国際消費組合デーには関消連の呼びかけで農林省に米の払い下げを請願した後、江東職業紹介所向上会、借家人組合、労農救援会、亀戸児童所などの人々で、「江東地区米よこせ会」を結成。23日に東京地方の会も発足しました。

30日朝、2人の子どもを連れた松田解子さんなど大島2、3丁目の主婦が大島町役場こ米よこせデモをおこないました。

8・1国際反戦デーには、各地の会が再度農林省請願をおこない、交渉の末「6千俵を1升17銭」で払い下げさせました。

戦争拡大につれて弾圧が強まり、1937年に関消連幹部が逮捕されて運動は下火になりますが、戦後の食糧メーデー(1946.5.19・30万人)につながります。渋谷の生協会館に当時の「米よこせ母子像」があります。

「反戦デモ」の呼びかけに、江東では夜9時、藤田俊次率いる行動隊1500人が亀戸天神から錦糸掘車庫へ行進し、警察と憲兵隊に123人が検挙されました。この他にも、錦糸掘の精工舎や東京市役所前でデモや集会がおこなわれました。

戦時下の厳しい時代に、江東地区を中心に「米よこせ」と「反戦」の要求が、不況と満州事変を背景に、一つに結びついて実行されたことは、江東区の歴史にとって記念すべきことでした。

5/5 高校生平和ゼミ

政治活動の「届け出制」に反対



東京高校生平和ゼミナール(平ゼミ)を代表して小林真実子さん(高校2年生)志牟田香帆さん(2年)吉岡実紀さん(3年)が、文科省が18

世界の子どもの平和像東京の会・東京高校生平和ゼミナールは、5月5日、江東区北砂の東京大空襲・戦災資料センターで、世界の子どもの平和像15周年のつどいを開催し、60名余が参加しました。

歳選挙権の実現にあたって政治活動を規制する通知を出し、校外における政治活動を届け出制にすることの見解を出したことに強く反対しますと、高校生アピールを紹介しました。「私たちは、明日の未来をつくるために、もっともっと多くの高校生と政治について学び考え、行動します」と決意を語りました。



総会には、東京土建江東支部、年金者組合東京都本部、江東民商、日本共産党の畔上三和子都議、菊池幸江区議、吉田年男江東地区委員長が来賓挨拶しました。

日本年金者組合江東支部 第21回定期総会

安心して暮らせる高齢者福祉を

5月15日、砂町文化センターで日本年金者組合江東支部の定期総会が開かれました。総会は、活動報告と運動方針、規約の改正、新役員を選出。総会アピールを拍手で採択しました。

活動報告・運動方針の提案に立つた斎藤憲夫事務局長は冒頭「憲法集会に参加して、生きていく良かつたと痛感した。野党共闘が実現し自民党政権を打倒する展望が出てきた」と述べ、今期の活動で「初めて『年金の切り下げは、憲法違反だ』と裁判に踏み切った」と、社保協と連携して学習会や、サークル活動、仲間づくりに取り組み、5名の仲間が増えたと報告しました。

活動方針では、8月開催の「日本高齢者集会in東京」の成功と、仲間を増やし、2000万署名の目標達成と野党共闘

の実現で戦争法廃止、消費税増税に反対し、高齢者が安心して暮らせるまちづくり運動など、総合6カ年計画を総達成しようとの提案。採択された総会アピールは、安倍政権が強行した集団的自衛権行使容認は憲法9条を無視した暴挙であり断固抗議する。消費増税、医療、介護保険制度の改悪を許さず、無年金者をなくし最低保障年金制度を確立させる。そのために仲間を増やし安心して暮らせる社会の実現を目指し、経験と英知を結集してたたかおうと呼びかけました。



5月11日、都教組江東支部・女性部の定期大会がティアラこうとうで開催されました。

谷口はるみ委員長は、管理職によるパワハラや、職員同士のつながりの悩みの解決。働きやすい労働環境めざして「職場の声」を310名からアンケートで聞き取り、区教委へ改善を要望したこと。「江東の教育を考える会」を発展させ「道徳の教科

女子学生を母の目線で見る

都教組江東支部・女性部が定期大会

化」問題や「子どもの貧困と教育格差」の学習会を区民にも呼びかけたことや「戦争法廃止2000万統一署名」が取り組まれ、1077筆(5月2日現在)になったことなどを報告しました。16年度の運動方針として、ふやそう仲間を、組合活動を工夫し大きく、減らそう長時間労働、の賃金・退職金の削減を許さず、健康と生活・権利を守り、安心して子育てできる働きやすい職場を。進めよう豊かな教育をみんなて学び、どの子ども健やかに。くらしと平和、憲法を守り生かすとりくみを、区労連、区内の働く仲間や団体との共同ですめることを確認しました。

行事日程

- 6月5日(日) (区内14会場) 東京土建江東支部「第39回住宅デー」
- 6月8日(水)12時(東陽公園) 第21回福祉の花を咲かせよう花咲きデモ
- 6月9日(木) (区内7駅ほか1カ所) 第133回9の日宣伝行動
- 6月12日(日)13時(タワーホール船堀) 江東民主商工会第71回総会
- 6月18日(土)13時30分(産業会館展示室) 江東健康友の会総会
- 6月23日(木) 参院選公示日 予定